

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 4 月 7 日 (2011.4.7)

【公開番号】特開 2008-260867 (P2008-260867A)
 【公開日】平成 20 年 10 月 30 日 (2008.10.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-043
 【出願番号】特願 2007-105217 (P2007-105217)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 B

C 0 9 J 201/00

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 3 月 16 日 (2010.3.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 5】

そこで、感圧粘着層を、独立したドット状（島状）等にパターン形成すると共に、前記感圧粘着層を、前記ドットごとに独立して、被粘着面に転写させて、糸曳きを防止することが提案されている（特許文献 1）。感圧粘着層を、前記ドット状等の、所定の平面形状パターン形成した感圧転写粘着テープは、通常、複数本の感圧転写粘着テープを包含する幅を有する帯状の基材の片面に、感圧粘着層のもとになる粘着剤を、グラビアロールコート法等によってパターン形成して、感圧粘着層を形成した後、前記基材を、複数本の感圧転写粘着テープの幅にスリットして製造される。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 2】

本発明の構成は、以上で説明した図の例には限定されない。例えば、本発明の製造装置は、従来公知の、種々の構成を有するスリッタに、吐出装置を組み込んで構成することができる。その他、本発明の要旨を変更しない範囲で、種々の設計変更を施すことができる。